



ぴよちゃんくらぶ



みんなで歌って手遊び



夢中で絵本を見つめる

0歳から3歳までの赤ちゃんを対象に絵本の読み聞かせを行っている「ぴよちゃんくらぶ」の皆さん。絵本を通して親子や参加者間のふれあいの場を提供し、赤ちゃんの心の成長へつなげようと活動を始めて、今年で9年目を迎える。最初は、阿南図書館で月に2回開催していたが、好評で今年4月からは月4回に増え、今では毎回40人を超える親子連れでにぎわうほど。子育て世代の親にとって、欠かせない存在となっている。

おはなし会では、季節感や当日の雰囲気を見て選んだ絵本や紙芝居、指人形、手遊びなどを実施。その日参加した赤ちゃんの成長段階に合わせた内容へと随時対応している。また、絵本を単に読むのではなく、メロディーをつけて歌ったり、簡単な手話を盛り込んだりと読み方にも創意工夫が満載。ほかにも、英語の絵本の読み聞かせや手



来たらまずスタンプを押印



絵本にあわせて「高い高い」

作りの小物を使った紙人形劇「ペープサート」など、メンバーの得意分野を生かした特色あるおはなし会が好評だ。

「赤ちゃんが動き回っていても、声は届いているんですよ。家で絵本の読み聞かせをする際、紹介した絵本や読み方が参考になればうれしいです。赤ちゃんと向き合う時間を大切に作る家庭で育つ子は、きつと優しい子に育ってくれると思います」と代表の田中房子さん（76歳・那賀川町）はほほ笑む。

阿南市では、平成16年8月から生後4カ月の赤ちゃんに絵本をプレゼントする「ブックスタート」を実施。赤ちゃんへの絵本の読み聞かせに興味をもつ親が増加するなか、「ぴよちゃんくらぶ」への期待も膨らんでいるのが現状だ。会場内に響く柔らかな声と笑顔で包まれた「優しい空間」を求めて、今日もたくさんの親子が訪れている。